



吉井田小学校
昭和39年制定

平成30年度 学校通信 No.7 [2018.7.17]

野 菊



《笑顔が輝く学校》

福島市立吉井田小学校
児童数 464 (4/6)
発行者 校長 遠藤嘉人

西日本豪雨 みんなの思い 55,988円

7月6～7日を中心に西日本を襲った豪雨は、平成最悪の犠牲者を出しました。崩れた土砂が住宅を押しつぶし、茶色い濁流が町を襲う光景が、テレビで映し出されていました。犠牲者は二百人に達し、安否不明者の懸命の捜索が行われています。避難生活を余儀なくされた被災者、避難の長期化も懸念されています。学校は、1学期の授業は行わず、2学期からの授業を目指すようになったところもありました。

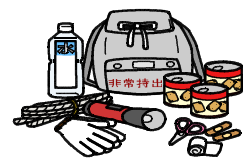


JRC 副委員長 船山知紘さんと JRC 委員長 菅野遙斗さん

まるで、2011年3月11日に起きた東日本大震災を思い出させる光景でした。当時の記憶がよみがえってきた方も、少なかったのではないかと思います。かつてのわたしたちがそうであったように、被災された方々には、何とか気持ちを強くもって、復興に向けて少しずつでも前に進んでいただきたい、と思っています。

7月13日(金)に、そんな子どもたちの思いがいっぱい詰まった義援金を、福島民報社に託してきました。55,988円という額は、これまで行ってきたどんな募金活動よりも多い金額でした。保護者の中には、子どもたちとは別に募金いただいた方もありました。「決して他人事ではない」という皆様の思いを、とても強く感じました。ご協力、本当にありがとうございます。

ご家庭でも、防災の話をしてみませんか？



本校には、道路に面したフェンスに「避難所」の看板が設置してあります。本校は、「洪水・土石流・崖崩れ・火災・地震」の時の避難所ではありませんが、「火山（吾妻山の噴火に伴う火山泥流）」の場合は、避難所とはなりません。ハザードマップによりますと、本校付近は、50cm未満の火山泥流の到達が予測されているためです。

「火山」の時の避難所は、火山泥流が到達しないとされている「信夫学習センターや信夫中学校」となります。

ご家庭で相談(決めごと)するときのポイント

- 1 登下校中の場合…引き返す場所を相談しておく
○○の手前だったら、家に戻りなさい・・・等
- 2 放課後や休日、子どもたちだけで家にいる場合
避難所の吉井田小学校へ行きなさい。そこで、家族が来るまで待ちなさい・・・等

いろいろな想定が考えられると思います。子どもたちだけで判断しなければならぬ場面も出てきます。その時に迷わないように、家族の動きの決めごとを話し合っておくことが大切だと思います。

